

平成31年4月 1日から  
令和元年9月30日まで

令和元年度上半期

美濃加茂市水道事業業務状況説明書

美濃加茂市水道事業

## 美濃加茂市水道事業の業務の状況

美濃加茂市水道事業は、清浄な水を安定的に供給し、住民サービスの向上と産業の進展に努めております。近年、節水意識の高まりや機器の普及、大口需要の減少等により、給水収益の増が期待できない状況にあります。が、「安心・安全な水を安定的に供給することを次世代に引き継ぐ」という美濃加茂市水道ビジョンの基本理念の達成に向け、引き続き、経費節減や有収率の向上に努め、財政健全化と経営の効率性向上を図りつつ、経年化施設や老朽管等の更新需要に対応してまいります。

### 令和元年度（上半期）の状況

#### 1 概況

令和元年度9月末までの配水給水実績は、次の表のとおりです。

前年同期と比べ、配水量は0.23%増、有収水量は0.35%減、有収率は0.52ポイント減となりました。

#### 配水量（4月～9月）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
県水	2,383,843m <sup>3</sup>	2,423,137m <sup>3</sup>	△39,294m <sup>3</sup>	△1.62%
自己水	947,131m <sup>3</sup>	900,327m <sup>3</sup>	46,804m <sup>3</sup>	5.20%
合計	3,330,974m <sup>3</sup>	3,323,464m <sup>3</sup>	7,510m <sup>3</sup>	0.23%

#### 有収水量及び有収率（4月～9月）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
有収水量	2,984,618m <sup>3</sup>	2,995,215m <sup>3</sup>	△10,597m <sup>3</sup>	△0.35%
有収率	89.60%	90.12%	△0.52ポイント	—

#### 2 建設改良工事について（1,000万円以上のもの）

上半期に次の建設改良工事を実施しております。

工事名	工期	備考
配水管布設替工事（木野工区）	H30.7.11～R1.9.30	繰越工事
配水管布設替工事（佐口幹線第3工区）	H30.9.26～R1.7.31	繰越工事
配水管布設替工事（西脇・東栃井工区）	H30.10.31～R1.8.2	繰越工事
配水管布設替工事（佐口幹線第4工区）	R1.7.17～R2.2.21	実施中
森山配水池外2施設テレメータ更新工事	R1.8.28～R2.3.19	実施中
配水管布設替工事（駅北第1工区）	R1.8.28～R2.3.13	実施中

### 3 予算の執行状況（令和元年4月～9月）

令和元年度9月末までの予算の執行状況は、次の表のとおりです。

#### (1) 収益的収支（税抜き）

収益的収支とは、施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。

##### 【収入】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
営業収益	597,805,545円	593,201,310円	4,604,235円	0.78%
営業外収益	1,008,607円	784,938円	223,669円	28.50%
計	598,814,152円	593,986,248円	4,827,904円	0.81%

##### 【支出】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
営業費用	287,390,145円	298,470,062円	△11,079,917円	△3.71%
営業外費用	11,090,582円	12,417,568円	△1,326,986円	△10.69%
計	298,480,727円	310,887,630円	△12,406,903円	△3.99%

#### (2) 資本的収支（税込み）

資本的収支とは、水道施設を建設・整備するための収支のことです。

##### 【収入】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
工事負担金	3,843,416円	6,820,398円	△2,976,982円	△43.65%
分担金	38,264,400円	42,800,400円	△4,536,000円	△10.60%
補助金	0円	43,000,000円	△43,000,000円	皆減
計	42,107,816円	92,620,798円	△50,512,982円	△54.54%

##### 【支出】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
建設改良費	164,963,593円	47,369,708円	117,593,885円	248.25%
企業債償還金	49,014,786円	48,786,504円	228,282円	0.47%
計	213,978,379円	96,156,212円	117,822,167円	122.53%

# 令和元年度（上半期）美濃加茂市水道事業損益計算書

（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）

（単位：円）

1 営業収益			
(1) 給水収益	596,428,545		
(2) 受託工事収益	600,000		
(3) その他営業収益	<u>777,000</u>	<u>597,805,545</u>	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	213,445,796		
(2) 配水及び給水費	31,000,361		
(3) 受託工事費	0		
(4) 総係費	42,906,197		
(5) 減価償却費	251,034,000		
(6) 資産減耗費	0		
(7) その他営業費用	<u>37,791</u>	<u>538,424,145</u>	
営業利益			59,381,400
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	829,195		
(2) 長期前受金戻入益	134,395,500		
(3) 雑収益	<u>179,412</u>	<u>135,404,107</u>	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	10,840,998		
(2) 雑支出	<u>249,584</u>	<u>11,090,582</u>	<u>124,313,525</u>
経常利益			183,694,925
当年度純利益（上半期）			183,694,925
前年度繰越利益剰余金			<u>131,212,651</u>
その他の未処分利益剰余金変動額			<u>98,203,211</u>
当年度未処分利益剰余金（上半期）			<u><u>413,110,787</u></u>

（注）減価償却費及び長期前受金戻入益は、年間予定額の2分の1を計上しました。



令和元年度（上半期）美濃加茂市水道事業貸借対照表  
（令和元年9月30日）

（単位：円）

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
	（1）有形固定資産		
	イ 土 地		465,588,797
	ロ 建 物	1,011,333,270	
	減価償却累計額	<u>△ 217,783,647</u>	793,549,623
	ハ 構 築 物	17,459,576,979	
	減価償却累計額	<u>△ 7,830,980,062</u>	9,628,596,917
	ニ 機 械 及 び 装 置	2,032,670,177	
	減価償却累計額	<u>△ 1,153,533,283</u>	879,136,894
	ホ 車 両 及 び 運 搬 具	20,561,000	
	減価償却累計額	<u>△ 5,959,469</u>	14,601,531
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	24,923,480	
	減価償却累計額	<u>△ 19,740,228</u>	5,183,252
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>210,550,182</u>
	有形固定資産合計		11,997,207,196
	（2）投 資		
	イ 投 資 有 価 証 券		<u>800,000,000</u>
	投 資 合 計		<u>800,000,000</u>
	固 定 資 産 合 計		12,797,207,196
2	流 動 資 産		
	（1）現 金 預 金		1,997,919,219
	（2）未 収 金	114,138,160	
	貸 倒 引 当 金	<u>△ 1,127,081</u>	113,011,079
	（3）貯 蔵 品		3,108,741
	（4）前 払 金		176,770,000
	（5）前 払 費 用		7,587,500
	（6）そ の 他 流 動 資 産		<u>31,977,775</u>
	流 動 資 産 合 計		2,330,374,314
	資 産 合 計		<u>15,127,581,510</u>

負債の部

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良企業債	<u>891,333,228</u>		
	企業債合計		891,333,228	
	(2) 引当金			
	イ 退職給付引当金	<u>93,520,000</u>		
	引当金合計		<u>93,520,000</u>	
	固定負債合計			984,853,228
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良企業債	<u>49,639,549</u>		
	企業債合計		49,639,549	
	(2) 未払金		16,329,751	
	(3) 前受金		30,529,737	
	(4) 引当金			
	イ 賞与引当金	<u>0</u>		
	引当金合計		0	
	(5) その他流動負債		<u>59,125,490</u>	
	流動負債合計			155,624,527
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		11,273,631,642	
	(2) 収益化累計額		△ 4,986,335,362	
	繰延収益合計			<u>6,287,296,280</u>
	負債合計			<u>7,427,774,035</u>

資本の部

6	資本金			
	(1) 資本金			6,369,644,733
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 補助金	<u>4,163,700</u>		
	資本剰余金合計		4,163,700	
	(2) 利益剰余金			
	イ 減債積立金	612,888,255		
	ロ 建設改良積立金	300,000,000		
	ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>413,110,787</u>		
	利益剰余金合計		<u>1,325,999,042</u>	
	剰余金合計			<u>1,330,162,742</u>
	資本合計			<u>7,699,807,475</u>
	負債資本合計			<u>15,127,581,510</u>

## 平成 30 年度美濃加茂市水道事業決算概要

### ① 業務実績について

平成 30 年度末における給水人口は、前年度と比較して 353 人(0.63%)増加し、給水件数は、前年度と比較して 225 件(1.31%)増加しました。給水件数が増加した要因は、全体の 86.5%を占める口径 13 mmの家庭用の給水件数が引き続き伸びているためです。

普及率は、99.40%でした。

	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率(%)
行政区域内人口(人)	56,993	56,665	328	0.58
給水人口(人)	56,649	56,296	353	0.63
給水件数(件)	17,385	17,160	225	1.31

次に、年間配水量は、59,455 m<sup>3</sup>(0.90%)増加、年間有収水量は、1,513 m<sup>3</sup>(0.03%)減少しました。

また、有収率は、88.10%となり、前年度と比較して 0.82 ポイント減少しました。

	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率(%)
年間配水量(m <sup>3</sup> )	6,663,814	6,604,359	59,455	0.90
年間有収水量(m <sup>3</sup> )	5,870,882	5,872,395	△1,513	△0.03
有収率(%)	88.10	88.92	△0.82	—

### ② 予算執行状況について(税込み) (※予算額と比較するため、税込み表示をしています。)

#### ア. 収益的収支(3 条)

収益的収入は、予算に対し 100.84%の収入率で、13,085,700 円の増収となりました。

収益的支出は、予算に対し 94.49%の執行率で、83,821,000 円の残額を生じました。

なお、納付消費税及び地方消費税額は、30,311,100 円となりました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
水道事業収益	1,562,587,000	1,575,672,700	13,085,700	100.84
営業収益	1,305,331,000	1,297,652,183	△7,678,817	99.41
営業外収益	257,256,000	278,020,517	20,764,517	108.07

	予算額(円)	決算額(円)	執行率(%)	不用額(円)
水道事業費用	1,520,013,000	1,436,192,000	94.49	83,821,000
営業費用	1,452,523,000	1,374,898,896	94.66	77,624,104
営業外費用	58,387,000	57,468,814	98.43	918,186
予備費	5,000,000	0	0.00	5,000,000
特別損失	4,103,000	3,824,290	93.21	278,710



#### イ. 資本的収支(4条)

資本的収入は、予算に対し 140.31%の収入率となり、50,794,350 円の増収となりました。この原因は、分担金の増収によるものです。

資本的支出は、予算に対し48.55%の執行率となり、翌年度(H31)繰越額278,055,000円を除く98,863,612円の不用額が生じました。この内訳は、建設改良費98,862,823円、企業債償還金789円です。

配水設備拡張費の執行額は、47,805,382円(平成29年度からの繰越事業を含む)で、主なものは、加茂野町稲辺工区、下米田町西脇工区、蜂屋町伊瀬・中蜂屋工区です。

配水設備改良費の執行額は208,263,585円(平成29年度からの繰越事業を含む)で、主なものは、古井町下古井神明工区、太田本町2丁目工区等配水管布設替工事と、上廿屋ポンプ場外3テレメータ更新工事、長良川鉄道横断配水管布設工事(木野第4踏切)です。

また、建設改良費の繰越として配水管布設替工事(西脇・東栃井工区)等7件278,055,000円を翌年度へ繰越しました。

企業債償還金98,203,211円は、地方公共団体金融機構の24件と政府資金(財政融資資金)の20件の元金の償還金です。

以上、資本的収入額(翌年度の支出の財源に充当する額28,205,440円を除く)が資本的支出額に対し不足する額207,149,478円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,558,134円、減債積立金98,203,211円、過年度分損益勘定留保資金99,590,352円及び繰越工事資金1,797,781円で補てんしました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
資本的収入	125,999,000	176,793,350	50,794,350	140.31
工事負担金	21,288,000	25,609,750	4,321,750	120.30
分担金	61,711,000	108,183,600	46,472,600	175.31
補助金	43,000,000	43,000,000	0	100.00

	予算額(円)	決算額(円)	執行率	翌年度繰越額(円)	不用額(円)
資本的支出	732,656,000	355,737,388	48.55%	278,055,000	98,863,612
建設改良費	634,452,000	257,534,177	40.59%	278,055,000	98,862,823
企業債償還金	98,204,000	98,203,211	100.00%	0	789

#### ③ 経営成績について(税抜き)(※経営成績を正しく表示するため、税抜き表示をしています。)

平成30年度の損益は、総収益1,479,496,969円に対し、総費用1,348,284,318円で、差し引き131,212,651円の純利益となりました。

#### ア. 収益比較

水道事業収益は、1,479,496,969円で、前年度と比較して12,737,527円(0.87%)の増となりました。

営業収益は、1,201,581,645円、総収益の81.22%を占めており、科目別に前年度と比較して、給水収益1,966,144円(0.17%)増、受託工事収益1,432,306円(43.46%)減、その他営業収益

7,960,816 円(37.53%)増で、全体では 8,494,654 円(0.71%)の増収となりました。

営業外収益は、277,915,324 円で、前年度と比較して、受取利息及び配当金 662,033 円(26.66%)減、長期前受金戻入益 4,961,974 円(1.84%)増、雑収益 57,068 円(3.78%)減で、全体では 4,242,873 円(1.55%)の増収となりました。

科目	平成 30 年度(円)	平成 29 年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業収益	1,479,496,969	1,466,759,442	12,737,527	0.87
営業収益	1,201,581,645	1,193,086,991	8,494,654	0.71
給水収益	1,170,545,505	1,168,579,361	1,966,144	0.17
受託工事収益	1,863,416	3,295,722	△1,432,306	△43.46
その他営業収益	29,172,724	21,211,908	7,960,816	37.53
営業外収益	277,915,324	273,672,451	4,242,873	1.55
受取利息及び配当金	1,821,403	2,483,436	△662,033	△26.66
長期前受金戻入益	274,639,566	269,677,592	4,961,974	1.84
雑収益	1,454,355	1,511,423	△57,068	△3.78

#### イ. 費用比較

水道事業費用は、1,348,284,318 円で、前年度と比較して 60,199,909 円(4.67%)の増加となりました。

営業費用は、1,317,451,007 円で総費用の 97.71%を占めており、前年度と比較して、増加した科目は、原水及び浄水費 38,057,428 円(6.99%)、配水及び給水費 4,887,627 円(6.06%)、総係費 8,940,295 円(7.82%)、減価償却費 10,626,031 円(2.22%)です。

一方、減少した科目は、受託工事費 1,432,306 円(43.46%)、資産減耗費 2,262,126 円(6.31%)です。結果、営業費用全体としては、59,499,410 円(4.73%)の増加となりました。

営業外費用は、27,292,297 円で総費用の 2.02%を占めており、前年度と比較して、支払利息(企業債利息)で 2,559,169 円(9.79%)減、雑支出で 281,346 円(7.07%)減、営業外費用全体では 2,840,515 円(9.43%)の減少となりました。

なお、断水の際の応急給水応援市町への負担金と、平成 30 年 9 月の台風による停電の際の発電機運転作業費等について、災害による損失として特別損失に計上しております。

科目	平成 30 年度(円)	平成 29 年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業費用	1,348,284,318	1,288,084,409	60,199,909	4.67
営業費用	1,317,451,007	1,257,951,597	59,499,410	4.73
原水及び浄水費	582,539,333	544,481,905	38,057,428	6.99
配水及び給水費	85,495,443	80,607,816	4,887,627	6.06
受託工事費	1,863,416	3,295,722	△1,432,306	△43.46
総係費	123,294,112	114,353,817	8,940,295	7.82
減価償却費	489,975,892	479,349,861	10,626,031	2.22
資産減耗費	33,600,350	35,862,476	△2,262,126	△6.31
その他営業費用	682,461	0	682,461	-

営業外費用	27,292,297	30,132,812	△2,840,515	△9.43
支払利息	23,592,251	26,151,420	△2,559,169	△9.79
雑支出	3,700,046	3,981,392	△281,346	△7.07
特別損失	3,541,014	0	3,541,014	-
災害による損失	3,541,014	0	3,541,014	-

#### ウ. 単位当たり収益費用の比較

平成 30 年度の有収水量1 m<sup>3</sup>当たりの収益、費用を前年度と比較すると次の表のとおりです。

有収水量1 m<sup>3</sup>当たりのコストを費用別に前年度と比較して、減少したものは、資産減耗費

0.39 円、支払利息 0.43 円、雑支出 0.05 円、長期前受金戻入益 0.86 円です。

一方、増加したものは、原水及び浄水費 6.51 円、配水及び給水費 0.84 円、総係費 1.53 円、減価償却費 1.83 円、その他営業費用 0.12 円です。

(単位:円/m<sup>3</sup>)

区 分	収益		区 分	費用	
	30年度	29年度		30年度	29年度
給水収益 (供給単価)	199.38	199.00	原水及び浄水費	99.23	92.72
			配水及び給水費	14.56	13.72
その他営業収益	4.97	3.61	総係費	21.00	19.47
受取利息配当金	0.31	0.42	減価償却費	83.46	81.63
長期前受金戻入益	46.78	45.92	資産減耗費	5.72	6.11
雑収益	0.25	0.26	その他営業費用	0.12	
			支払利息	4.02	4.45
			雑支出	0.63	0.68
小計	251.69	249.21	小計	228.74	218.78
受託工事収益	0.32	0.56	△長期前受金戻入益	△46.78	△45.92
合計	252.01	249.77	合計(給水原価)	181.96	172.86

#### エ. 人件費(職員給与費)

平成 30 年度の損益勘定職員給与費は、54,352,767 円で、総費用に占める割合は、4.03%となっています。

職員給与費の給水収益に対する割合は 4.64%で、前年度と比較して 0.26 ポイント高くなりました。職員1人当たり有収水量及び営業収益は、水道事業における労働生産性をもっとも端的に表すものといわれており、いずれの数値も 29 経営指標の約 2 倍になっています。

区 分	30年度	29年度	比較増減	29経営指標
職員1人当たり有収水量 (m <sup>3</sup> )	838,697	838,914	△217	451,260
職員1人当たり営業収益 (円)	171,388,318	169,970,181	1,418,137	80,957,000
職員1人当たり給水人口 (人)	8,093	8,042	51	4,075

※職員数＝損益勘定職員 H30 年度 7 名

オ. 水道料金の収入状況(税込み)

平成 30 年度の水道料金収入状況は、次表のとおりです。

過年度分の収納率は、95.68%で前年度と比較して 0.17 ポイント上昇、当年度分の収納率は、92.18%となり前年度と比較して 0.12 ポイント上昇しました。

また、口座振替による入金は、月末振替翌月収納となるため、3 月分の口座振替額(80,343,651 円)を収入済みとみなすと、実質的には当年度分の収納率は、98.54%となり、前年度と比較して 0.03 ポイント上昇しました。

年 度	区 分	調定額(円)	収入済額(円)	不納欠損(円)	収納率(%)
平成 29 年度	当年度分	1,262,106,369	1,161,838,139	44,123	92.06
	過年度分	100,540,427	94,545,493	1,545,875	95.51
	計	1,362,646,796	1,256,383,632	1,589,998	92.31
平成 30 年度	当年度分	1,264,185,899	1,165,365,875	—	92.18
	過年度分	104,673,166	99,998,235	162,919	95.68
	計	1,368,859,065	1,265,364,110	162,919	92.45

カ. 経営分析比率

収益性を示す総収支比率は 109.73%で前年度と比較して 4.14 ポイント減少、単年度黒字の目安となる経常収支比率は 110.02%で前年度と比較して 3.85 ポイントの減少、上水道固有の事業に関わる営業収支比率は 91.19%で前年度と比較して 3.64 ポイントの減少となりました。

区 分	算 式	30年度	29年度	29 指標
総収支比率(%)	総収益/ 総費用×100	109.73	113.87	112.07
経常収支比率(%)	経常収益/経常費用×100	110.02	113.87	112.15
営業収支比率(%)	営業収益/営業費用×100	91.19	94.83	102.39

④ 財政状態について

最近 2 年間の貸借対照表は、④-1 表のとおりです。資産合計は、前年度と比較して 78,202,617 円減少しました。その内訳は、固定資産は 275,105,235 円減少し、流動資産は 196,902,618 円増加しました。

一方、負債・資本の合計は 78,202,617 円減少しました。その内訳は、固定負債が 98,654,335 円減少、流動負債が 11,489,212 円減少、繰延収益が 99,271,721 円減少、資本金が 97,759,526 円増加、剰余金が 33,453,125 円増加しました。

④-1 表

	30年度(円)	29年度(円)	比較増減(円)	前年度比(%)	構成比率(%)	
	(A)	(B)	(A) - (B)	(A)/(B)	30年度	29年度
固定資産	12,796,426,034	13,071,531,269	△275,105,235	97.90	83.84	85.21
流動資産	2,465,934,359	2,269,031,741	196,902,618	108.68	16.16	14.79
資産合計	15,262,360,393	15,340,563,010	△78,202,617	99.49	100.00	100.00
固定負債	984,853,228	1,083,507,563	△98,654,335	90.89	6.45	7.06
流動負債	378,691,555	390,180,767	△11,489,212	97.06	2.48	2.54
繰延収益	6,382,703,060	6,481,974,781	△99,271,721	98.47	41.82	42.25
資本金	6,369,644,733	6,271,885,207	97,759,526	101.56	41.74	40.89
剰余金	1,146,467,817	1,113,014,692	33,453,125	103.01	7.51	7.26
負債資本合計	15,262,360,393	15,340,563,010	△78,202,617	99.49	100.00	100.00

④-2 表は、財務状態を示す指標です。

事業の安全性を見る視点として流動比率(適正な比率は、200%以上)は、651.17%であります。また、自己資本構成比率については年々比率が高くなっており、安定的な経営状態となっております。

④-2 表

区 分	算 式	30年度	29年度	29 指標
流動比率(%)	流動資産/流動負債×100	651.17	581.53	355.50
自己資本構成比率(%)	(資本合計+繰延収益)/負債・資本合計 ×100	91.15	90.39	70.38
固定資産対長期資本比率(%)	固定資産/(固定負債+資本合計+繰延収益)×100	85.90	87.43	90.18

以上が平成30年度の事業概況であります。

今年度発生した断水や停電を受けて、今後、ハード・ソフト両面の対策事業を実施することで、安定給水能力の向上を図るとともに、引き続き、災害に対する備えも含めた老朽管更新事業を、水道ビジョンに基づいて計画的に推進してまいります。

また、経費節減や有収率向上等を図り、財政の健全化と企業経営の効率性を高めていくよう努力してまいります。

# 平成30年度 美濃加茂市水道事業損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	1,170,545,505		
(2) 受託工事収益	1,863,416		
(3) その他営業収益	<u>29,172,724</u>	<u>1,201,581,645</u>	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	582,539,333		
(2) 配水及び給水費	85,495,443		
(3) 受託工事費	1,863,416		
(4) 総係費	123,294,112		
(5) 減価償却費	489,975,892		
(6) 資産減耗費	33,600,350		
(7) その他営業費用	<u>682,461</u>	<u>1,317,451,007</u>	
営業損失			115,869,362
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	1,821,403		
(2) 長期前受金戻入益	274,639,566		
(3) 雑収益	<u>1,454,355</u>	<u>277,915,324</u>	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	23,592,251		
(2) 雑支出	<u>3,700,046</u>	<u>27,292,297</u>	<u>250,623,027</u>
経常利益			134,753,665
5 特別損失			
(1) 災害による損失	<u>3,541,014</u>	<u>3,541,014</u>	<u>△ 3,541,014</u>
当年度純利益			131,212,651
前年度繰越利益剰余金			0
その他の未処分利益剰余金変動額			<u>98,203,211</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>229,415,862</u></u>



平成30年度美濃加茂市水道事業貸借対照表  
(平成31年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1)有形固定資産

イ 土 地 465,588,797

ロ 建 物 1,011,333,270

減価償却累計額 △ 206,580,647 804,752,623

ハ 構 築 物 17,459,576,979

減価償却累計額 △ 7,642,745,062 9,816,831,917

ニ 機 械 及 び 装 置 2,032,438,197

減価償却累計額 △ 1,102,897,283 929,540,914

ホ 車 両 及 び 運 搬 具 8,061,000

減価償却累計額 △ 5,617,969 2,443,031

ヘ 工 具 器 具  
及 び 備 品 24,584,480

減価償却累計額 △ 19,121,728 5,462,752

ト 建 設 仮 勘 定 71,806,000

有形固定資産合計 12,096,426,034

(2)投資その他の資産

イ 投資有価証券 700,000,000

投資その他の資産  
合 計 700,000,000

固定資産合計 12,796,426,034

2 流 動 資 産

(1)現金預金 2,073,319,313

(2)未 収 金 155,086,495

貸倒引当金 △ 1,127,081 153,959,414

(3)有 価 証 券 99,975,000

(4)貯 蔵 品 4,344,352

(5)前 払 金 133,200,000

(6)その他流動資産 1,136,280

流動資産合計 2,465,934,359

資 産 合 計 15,262,360,393



負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の			
財源に充てる			
ための企業債	<u>891,333,228</u>		
企業債合計		891,333,228	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	<u>93,520,000</u>		
引当金合計		<u>93,520,000</u>	
固定負債合計			984,853,228
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の			
財源に充てる			
ための企業債	<u>98,654,335</u>		
企業債合計		98,654,335	
(2) 未払金		253,162,649	
(3) 前受金		11,477,666	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	<u>6,230,000</u>		
引当金合計		6,230,000	
(5) その他流動負債		<u>9,166,905</u>	
流動負債合計			378,691,555
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		11,234,642,922	
(2) 収益化累計額		<u>△ 4,851,939,862</u>	
繰延収益合計			<u>6,382,703,060</u>
負債合計			<u>7,746,247,843</u>

資本の部

6 資本金			6,369,644,733
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 補助金	<u>4,163,700</u>		
資本剰余金合計		4,163,700	
(2) 利益剰余金			
イ 減債積立金	612,888,255		
ロ 建設改良積立金	300,000,000		
ハ 当年度未処分			
利益剰余金	<u>229,415,862</u>		
利益剰余金合計		<u>1,142,304,117</u>	
剰余金合計			<u>1,146,467,817</u>
資本合計			<u>7,516,112,550</u>
負債資本合計			<u>15,262,360,393</u>